

令和 6 度事業報告

令和6年度事業報告

【 I 法人本部 】

社会福祉を標榜する法人として、地域の福祉ニーズに応えるべく事業の推進に取り組んだ。特に法人の体制の強化を図ることを目的とした各事業の収益性を含めた事業推進の在り方に対する再評価や業務基準・業務体制の見直し、人材確保及び人材育成のための人事処遇等の諸規程の見直しを継続的に実施した。

1) 令和6年度 理事会・定時評議員会等の開催状況

種別	回数	開催日	議案
理事会	第1回	令和6年 5月24日	1. 令和5年度事業報告書の承認について 2. 令和5年度収支決算書類（案）の承認について・監事監査報告 3. 正規職員給与規程・準職員等給与規程の改正（案）について 4. 令和6年度定時評議員会の招集（案）について
	第2回	令和7年 3月19日	1. 令和6年度収支補正予算（案）について 2. 令和7年度事業計画（案）について 3. 令和7年度収支予算（案）について 4. 定年延長に伴う規程の改正（案）について 5. 正規職員給与規程の改正（案）について

種別	回数	開催日	議案
評議員会	定時	令和6年 6月13日	1. 令和5年度収支決算書類（案）の承認について・監事監査報告 2. 令和5年度事業報告について

2) 令和6年度実施事業

《第二種社会福祉事業》

- ① 障害者支援センターうめの里の経営（就労継続支援B型事業）
- ② 生活介護事業所なないろの経営（生活介護事業）
- ③ 共同生活支援事業所ゆうの経営（グループホーム）
- ④ うめの里相談支援センターの経営（特定相談・障害児相談・一般相談）

《公益事業》

- ① 日中一時支援事業（日置市・南さつま市・いちき串木野市・薩摩川内市よりの委託事業）
- ② 地域交流・活性拠点ひよし吉日の運営

【 II 社会福祉事業 】

1. 障害者支援センターうめの里（就労継続支援 B 型事業）

令和 6 年度目標として、令和 7 年 1 0 月にスタートする就労選択支援の動向をはじめ細分化された平均工賃による報酬単価設定といった変遷していく B 型事業の在り方を見据えながら利用者の一般就労に向けた作業スキルのアップ及び平均工賃 2 8, 0 0 0 円を目標に掲げ利用者の作業支援、就労支援への取り組みを行った。また受注量が低下傾向にあった下請け作業に対して企業の担当者とのコミュニケーションを積極的に図りながら信頼性と正確性向上に努めたことで一部受注量の回復を図ることができた。

食品加工については米をはじめ原材料の高騰が極めて顕著となったことから経費削減による価格据え置きにも限界が生じており早急な販売価格の見直しを図る必要も出てきた。

就労訓練では、前年度に引き続き「地域交流・活性拠点ひよし吉日」において一般就労を希望する複数の利用者に対して厨房内業務、接客業務等の就労訓練を行い、少しずつ働くことへの意識付けに繋げることが出来てきた。

〈R 6 年度作業収入及び工賃〉

作業種目	令和 6 年度作業収入額	令和 5 年度作業収入額	増 減
役 務	1 2, 3 4 6, 4 5 0 円	1 3, 7 0 2, 0 5 6 円	－ 1, 3 5 5, 6 0 6 円
園芸・工芸	2, 5 7 5, 2 7 9 円	1, 7 1 9, 7 4 1 円	＋ 8 5 5, 5 3 8 円
食品加工	7, 9 6 9, 1 4 5 円	8, 3 8 1, 2 0 5 円	－ 4 1 2, 0 6 0 円

令和 5 年度作業収入計 2 3, 8 0 3, 0 0 2 円

令和 6 年度作業収入計 2 2, 8 9 0, 8 7 4 円

前年度比 － 9 1 2, 1 2 8 円

令和 5 年度平均工賃支給額 2 5, 1 3 8 円

令和 6 年度平均工賃支給額 2 5, 2 8 0 円

前年度比 ＋ 1 4 2 円

2. 生活介護事業所なないろ（生活介護事業）

令和6年度の報酬改定により、細かな利用時間制への変更等をはじめとする運営実態に合わせた改定となったことから、サービス提供時間の管理、個別支援計画への根拠記載をはじめとする義務化された運営基準に反することがないように利用者支援に並行しながら事業運営の見直しにも取り組んだ年度となった。

また令和5年度より利用者の意見を反映した活動メニューも定着しつつあり、創作活動で作成した作品を「地域交流・活性拠点ひよし吉日」にて展示販売を行い、来客者の方々に大変、好評いただくことができ利用者の満足度向上にも繋げることが出来た。

利用者の事故を未然に防ぎ安心したサービス利用ができるよう取り組んでいる毎朝の朝礼時に前日にあったヒヤリハットを振り返り具体的な支援対策を考察し対策を講じたが、2件の室内移動時の転倒事故があったことから、活動室をはじめとする室内での動線を考慮した対策の構築が喫緊の課題となった。

〈R6年度に実施した主な活動内容〉

① 運動活動

フットサル・ヨガ・風船バレー・エアロビクス・卓球・フラダンス・相撲体操・プール・フライングディスク・アスレチック

② 創作活動

鯉のぼり製作・風鈴製作・カレンダー製作・干支の置物製作・正月飾り製作・サンドアート・クリスマスブーツ製作・落ち葉スタンプ製作・ストーンアート製作

＊一部は山形屋でのバザー販売、ひよし吉日での展示販売を実施

3. 共同生活支援事業所ゆう（共同生活援助事業）

令和6年度の報酬改定により、サービス提供時間の実態に応じた報酬へ変更されたことから世話人の配置時間等をはじめとする支援時間配分の見直しや利用者の費用負担額を増やさないための物価高騰への対応等、入居者がより安全で安心できるサービス提供が行えるよう随時改善に取り組んだ。また毎月実施する世話人会議等を通じて入居者の「権利擁護」「自立に向けた支援の強化」「虐待防止」の徹底を図った。

〈R6年度に実施した主な支援内容〉

- ① 感染症予防・蔓延防止対策指針に基づいた定期的な職員研修の実施（4回）及び備品等の在庫管理
- ② 防火避難訓練（2回）
- ③ 地震、津波に対する避難訓練の実施（3回）
- ④ 防犯訓練の実施（1回）
- ⑤ 地域住民との交流促進
- ⑥ 成年後見人等との緊密な連携による資産管理
- ⑦ 物価高騰に対するこまめな市場調査の実施（利用者の負担金増の抑制）

- ⑧ 定期通院や健康診断による疾病の早期発見、早期治療
- ⑨ 移動時の支援をはじめ生活動作の一部介助による事故防止

4. 相談支援事業（一般相談・計画相談・障害児相談）

市町村や医療機関、障害福祉サービス事業所、介護保険事業所等との連携を図りながら相談者に対しニーズを捉えたプラン作成、定期的なモニタリングを行うことで本人に必要なサービスの提供に努めた。

- ① 令和6年度実績件数（ ）は前年度実績数

事業名	計画相談	モニタリング
特定相談支援事業（者・児）	102件（104件）	240件（212件）
一般相談支援事業	6件（48件）	

- ② 各協議会への参加及び関係事業所との連携

- ・日置市自立支援協議会 相談支援部会への参加
- ・日置市自立支援協議会 地域移行支援部会への参加
- ・日置市自立支援協議会 権利擁護部会への参加
- ・訪問看護事業所、日置市地域包括支援センターとの情報共有推進

- ③ 相談員のスキルアップ

- ・相談支援専門員研修会の参加
- ・ハラスメント対応研修参加
- ・看護師、MSW、ケアマネジャー等との連携

【 Ⅲ 公益事業 】

1. 日中一時支援事業

新型コロナウイルス感染症等の感染防止のため、前年度に引き続き利用人数および利用日数を制限してのサービス提供となり令和6年度の利用人数は13人で利用日数は延べ67日であった。7年度以降は利用制限を緩和し、新規利用者の確保を行い安定した事業推進に取り組んでいく。

2. 地域交流・活性拠点ひよし吉日

令和5年9月から社会福祉法人の地域貢献とビジネス的な部門として位置づけ新たに開始し1年半が経過、予定していた来館者数を大幅に上回ることができた。

また本事業の柱である地域住民や地域企業等との連携促進については、地域の住民の行事

利用、日置市こども未来課等をはじめ地域の利用が少しずつ進んできた。

〈令和6年度運営状況〉

来客者数合計	30,278人
平均利用者数（月）	2,523人
売上合計額	23,585,625円
平均売上額（月）	1,965,469円
経費合計額（食材料費・水道光熱費・償還金） ＊償還金は月額473,000円	15,330,998円
収支差額（年間）	+8,254,627円

＊経費合計額は人件費を除く

【 IV 令和6年度 利用状況 】

《障害者支援センターうめの里・生活介護事業所なないろ合算》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所 日数	22	23	22	23	20	22	23	22	23	23	20	23
登録 者数	75	75	76	75	75	75	76	76	75	75	76	76

《障害者支援センターうめの里》定員40名

月	登録者数	平均利用者数／日
4月	51	48.1
5月	51	48.0
6月	51	48.2

7月	5 1	4 6 . 7
8月	5 1	4 8 . 1
9月	5 1	4 8 . 6
1 0月	5 2	4 8 . 6
1 1月	5 2	4 7 . 7
1 2月	5 1	4 5 . 7
1月	5 1	4 0 . 6
2月	5 2	4 8 . 0
3月	5 2	4 8 . 8

《生活介護事業所なないろ》定員20名

月	登録者数	平均利用者数／日
4月	2 4	2 2 . 2
5月	2 4	2 1 . 8
6月	2 5	2 0 . 8
7月	2 4	2 1 . 3
8月	2 4	2 0 . 5
9月	2 4	2 0 . 8
1 0月	2 4	2 1 . 3
1 1月	2 4	2 0 . 8
1 2月	2 4	2 1 . 1
1月	2 4	1 7 . 1

2月	24	19.5
3月	24	20.7

《共同生活支援事業所ゆう》入居定員20名（男性10・女性10）

	入居者数（男性）	入居者数（女性）
4月	10	10
5月	10	10
6月	10	10
7月	9	10
8月	9	10
9月	9	10
10月	9	10
11月	9	10
12月	10	10
1月	10	10
2月	10	10
3月	10	10

【 V 利用者行事等 】

実施月	行事名
4月	防災訓練

5 月	たこ焼き大会
6 月	実施なし
7 月	健康診断・七夕
8 月	実施なし
9 月	上半期誕生会
10月	防災訓練・日帰り旅行（霧島方面）・ハロウィン祭り
11月	仲よしスポーツ大会（GH 参加）
12月	クリスマス会・忘年会（サンロイヤルホテルにて開催）・餅つき（利用者、職員のみにて開催）・フットサル大会
1 月	初詣
2 月	節分
3 月	防犯訓練・グランドゴルフ大会・下期誕生会

【 VI 健康管理 】

年1回の定期健康診断と看護師による健康観察の実施により、疾患の早期発見に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底（利用開始時の検温・消毒・食事時の飛沫対策等）、インフルエンザやノロウイルス等の感染予防対策を行った。

【 VII 給食 】

利用者の食の安全を第一に考えた食材の提供を実践し、食前の手洗い励行等、食中毒の防止に努めた。

- ・利用者を交えた給食委員会の開催（3回）
- ・週1回の栄養士による給食会議
- ・嗜好調査の実施と献立への反映
- ・行事食の充実（季節感を味わえるメニュー）

- ・手作りの食材提供

【 VIII 職員の資質向上 】

専門職としての資質向上のため、内部研修の実施、ケース検討会を定期的に開催した。
外部研修については新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い対面での研修会も開催されるようになったことから各種研修会に参加し職員のスキル向上に努めた。

- ・障害者福祉制度等に関する職員勉強会の開催
- ・各事業所会議の開催（毎月）
- ・事業所連絡会議（毎月）
- ・事例検討会の開催（毎月）
- ・外部研修会参加及び報告会の開催（オンライン参加を含む）
- ・サービス管理責任者資格取得研修参加
- ・相談支援専門員研修参加

〈R6年度の主な研修会参加状況〉

研修会名	主 催	参加者	参加形態
全国社会就労センター総合研究大会	全国社会就労センター協議会	下笠	会場参加（県外）
九州地区知的障害関係施設職員研修大会	九州地区知的障害者福祉協会	黒木	会場参加（県外）
全国知的障害者関係施設長等会議	日本知的障害者福祉協会	徳盛	会場参加（県外）
社会福祉施設監事等研修	県社会福祉協議会	平地監事	オンライン参加
県社会就労センター協議会施設長・職員研修大会	県社会就労センター協議会	東・黒木・堤	会場参加（県内）
サービス管理責任者更新研修	県社会福祉協議会	東・東（真） 下笠	オンライン研修
九州社会就労センター研究大会	九州社会就労センター協議会	東	会場参加（県外）
県社会就労センター協議会施設長・職員研修大会	県社会就労センター協議会	東・野中	会場参加（県内）
社会福祉法人ブロック別監事等研修会	県地域振興局	平地監事	会場参加（県内）

福祉サービス苦情解決研修会	県社会福祉協議会	黒木・徳盛	オンライン参加
---------------	----------	-------	---------

【 IX 各種委員会・研修会の開催 】

委員会・研修会名	実施回数
障害者虐待防止委員会	1 回
障害者虐待防止職員研修会	1 2 回
身体拘束適正化委員会	1 回
身体拘束適正化職員研修会	1 2 回
感染症対策委員会	4 回
感染症対策職員研修会	2 0 回
BCP 訓練（感染症）	3 回
BCP 訓練（自然災害）	3 回

【 X 苦情受付 】

事業所	件数	申出者	内 容	結 果
うめの里	1	母親	息子が他の利用者より、「髪を引っ張られたり、叩かれたりされている」と言っているが本当なのかどうか知りたい。	解決済
なないろ	0	—	—	—

ゆう	0	—	—	—
----	---	---	---	---

【 XI 事 故 】

事業所	件 数	主な内容	処 理
うめの里	0	—	—
なないろ	2	昼食の下膳時に椅子に引っ掛かり転倒、左膝と右上脛等を床で打撲する。	通院治療済
		活動時にゴミを捨てようとし離席した際に転倒し顔面を打撲する。	通院治療済
ゆう	2	トイレ使用時に出入口付近で転倒し、右後頭部を打撲する。	通院治療済
		リビング移動時に椅子に足が引っ掛かり転倒、眉間を1 c m程度、切創する。	通院治療済

【 XII 身体拘束・虐待 】

事業所	種 類	件 数	種 類	件 数
うめの里	虐待の発生	0	身体拘束の実施	0
なないろ	虐待の発生	0	身体拘束の実施	0
ゆう	虐待の発生	0	身体拘束の実施	0